

「良い行いに励む」

2019年05月11日

テトスへの手紙 3章8節～15節 この言葉は真実です。あなたがこれらのことを力強く主張するように、わたしは望みます。そうすれば、神を信じるようになった人々が、良い行いに励もうと心がけるようになります。これらは良いことであり、人々に有益です。愚かな議論、系図の詮索、争い、律法についての論議を避けなさい。それは無益で、むなしいものだからです。分裂を引き起こす人には一、二度訓戒し、従わなければ、かかわりを持たないようにしなさい。あなたも知っているとおりに、このような人は心がすっかりゆがんでいて、自ら悪いと知りつつ罪を犯しているのです。

アルテマスかティキコをあなたのもとへ遣わしたら、急いで、ニコポリスにいるわたしのところへ来てください。わたしはそこで冬を越すことにしたからです。法律家ゼナスとアポロとを、何も不自由しないように、よく世話をして、送り出してください。わたしたちの仲間も、実際に必要な物を賄うために、良い行いに励むことを学ばねばなりません。実を結ばない者とならないためです。わたしと一緒にいる者たちが皆、あなたによろしくと言っています。わたしたちを愛している信仰の友人たちによろしく伝えてください。恵みがあなたがた一同と共にあるように。

「この言葉は真実です」は、Ⅰテモテ、Ⅱテモテ、テトス書で強調する時に、しばしば使われる慣用語である。「これらのこと」とは、前節の「こうしてわたしたちは、キリストの恵みによって義とされ、希望どおり永遠の命を受け継ぐ者とされたのです」である。永遠の命を受け継ぐ者とされていることを強く主張することを望む。それを受け入れ、神を信じるようになった人々が、良い行いに励もうと心がけることは良いことであり、彼らには有益である。教会は、キリストの福音宣教に強い使命感を持って励んでいたのである。

「著者」は、次に悪の具体例を上げ、対処法を述べている。「愚かな議論、系図の詮索、争い、律法についての論議を避けなさい。それは無益で、むなしいものだからです。分裂を引き起こす人には一、二度訓戒し、従わなければ、かかわりを持たないようにしなさい。あなたも知っているとおりに、このような人は心がすっかりゆがんでいて、自ら悪いと知りつつ罪を犯しているのです。」神の愛、キリストの恵み、聖霊の導きを信じない、愚かな議論を避けなさい。系図の詮索、律法に関する議論はユダヤ主義者たちが持ち出すものであろう。分裂を引き起こす人には、一、二度は訓戒するが、聞かない場合は関りを断ちなさい、無益で虚しいと、手厳しい。そのような人たちは心が歪み、悪と知りつつも罪を犯しているからであると言う。

最後の段落に書かれていることは、歴史的に検証できない。「アルテマスかティキコをあなたのもとへ遣わしたら、急いで、ニコポリスにいるわたしのところへ来てください。わたしはそこで冬を越すことにしたからです。」パウロはテトスを招き、寒い冬をニコポリスで過ごしたいと望んでいる。「法律家ゼナスとアポロとを、何も不自由しないように、よく世話をして、送り出してください。わたしたちの仲間も、実際に必要な物を賄うために、良い行いに励むことを学ばねばなりません。実を結ばない者とならないためです。」長老たちを派遣し、互いに必要を満たし、学び合い、実を結ぶ者でありたいと願っている。

「わたしたちを愛している信仰の友人たちによろしく伝えてください」との挨拶を送り、最後に、「恵みがあなたがた一同と共にあるように」との祝福の言葉で終えている。